

2024年に山口県日本海で初めて確認された魚類

2024年に実施した調査船「かいせい」による桁網調査や魚市場調査により、ソコホウボウ、マルコバンおよびロウニンアジの3種が山口県日本海で初めて確認されたので、紹介します。



ソコホウボウ

本種は水深10～600 mに生息する深海性種で、日本周辺では鹿島灘～土佐湾の太平洋沿岸、九州北岸（稀）、五島列島福江島、東シナ海大陸棚縁辺～斜面に分布します。

2024年6月24日、川尻岬北西沖34海里で「かいせい」の桁網調査により1個体（体長35mm）が採捕されました。

標本は京都大学に寄贈（FAKU 152419）、写真は甲斐嘉晃先生撮影。



マルコバン

本種は熱帯・亜熱帯性種で、日本周辺では宮城県、茨城県、千葉県、高知県、宮崎県、鹿児島県、屋久島、種子島、与論島、沖縄島、慶良間諸島に分布します。

2024年10月25日、長門市通定置網で1個体（尾叉長410mm）が採捕されました。

本個体は日本海初記録となります。



ロウニンアジ

本種は熱帯・亜熱帯性種で、日本周辺では京都府京丹後、福岡県の日本海沿岸、小笠原諸島、茨城県～九州南岸の太平洋沿岸、瀬戸内海（愛媛県）、九州西岸、大隅諸島、琉球列島、および南大東島に分布します。

2024年12月11日、長門市通定置網で1個体（体長632mm）が採捕されました。